

科目名	工業数理	英語科目名	Industrial Mathematics
開講年度・学期	平成22年度・後期	対象学科・専攻・学年	機械工学科1年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	1単位	単位種類	履修単位(30h)
担当教員	増淵 寿	居室(もしくは所属)	機械工学科棟2階
電話	0285-20-2200	E-mail	masubuti@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 大きな数値や小さな数値の表現法を身につけ、これらの数値を用いた基本的な計算ができる 2. SI単位を理解し、単位をもった物理量の計算ができる 3. 機械工学で使用する基本的な物理量を理解し、その計算ができる 4. 回転運動を表わす方法を理解し、回転機械の基礎的な計算ができる 			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標1～4：試験での関連問題について60%以上の成績で達成とする			
評価方法			
<p>評価は下記3項目の加重平均によって行う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験(80%) 2. 演習問題や課題の解答内容(10%) 3. 授業の出席状況と受講姿勢(10%) 			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 機械工学とは(1週) 2. 科学的記数法(3週) 3. SI(国際単位系)(2週) (後期中間試験) 4. 機械の運動と物理量(5週) 5. 回転運動と機械(3週) (後期期末試験) 6. 試験返却と解答(1週) 			
キーワード	科学的記数法、有効数字、SI単位、力学、回転運動		
教科書	自作のプリントを使用する		
参考書			
小山高専の教育方針①～⑥との対応	④		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
JABEE基準1の(1)との関係			
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	中学校で学んだ数学および理科科目全般		
現学年の関連科目	基礎数学A, B, 工作実習, 物理		
次年度以降の関連科目	工業力学I		
連絡事項			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業方法は講義を中心とし、演習問題や課題を出して解答の提出を求めます 2. 授業中に配布するプリントの演習問題を必ず解き、正確に解答できるようにして下さい 3. 定期試験は時間を50分とし、関数電卓の持ち込みは可とします 4. 授業には、必ず関数電卓を持参して下さい 			
シラバス作成年月日	平成22年 3月 1日		